

『親子で学ぶ農林水産業見学体験ツアーin相馬・新地』 を開催しました。

令和5年2月5日（日）に、相双管内の小学生とその保護者（13組32名）に参加いただき、日帰りバスツアーを開催しました。本ツアーは、農林水産物の安全・安心に関する情報発信の一環として実施しているもので、生産者の皆さんとの交流や収穫体験などを通じ、相双管内の農林水産物に対する安心感を高めてもらうとともに、農林水産業の再開状況や取組状況を理解してもらうことを目的としています。

新地町の菊地農園では、農園を営む菊地さんからシイタケの震災による被害とそれからの復興についてお話を伺った後、ビニールハウス内で原木しいたけの収穫を体験しました。

福島県水産資源研究所では、副所長から栽培漁業の取組や研究所の役割、水産物の放射性物質検査について説明を受け、研究施設を見学しました。参加者は、魚の餌となるプランクトンを育てる水槽など、研究機関ならではの設備に興味深そうに見学していました。

相馬市松川浦の鵜の尾岬では、当所より海岸防災林の役割や復旧状況の説明を行いました。

和田観光苺組合では、組合長からイチゴのハウス栽培の取組などについて説明を受けた後、イチゴ狩りを行いました。参加者は、大きさや色などを吟味しながら摘み取ったイチゴをお腹いっぱい食べていました。

参加者からは、「子どもと一緒に見て、触って、食べてとても良い1日が過ごせた。」「震災からここまで頑張って再生してすごいと思った。」という声が寄せられました。



菊地農園での原木しいたけ収穫体験



県水産資源研究所での施設等についての説明



鵜の尾岬での海岸防災林についての説明



和田観光苺組合でのイチゴ狩り